

【がんばる市内企業の事業活動や事業展開を紹介します】

(有)大石フーズ

～食文化を通して笑顔を創造する～

事業を展開するうえで、大洲の食材をどうPRしていくかが、長年の課題となっていました。大洲産の食材で商品開発に乗り出したところ、多くの人からご協力をいただき、試行錯誤を重ねて、いもたきセットが完成しました。この商品を引き、市外のお客様にも弊社の商品を購入し

ていただける商品開発を行い、現在では、インターネット販売や都市部のデパートとの取引がはじまるなど、新たな販路拡大につなげることができました。これからの経営戦略としては、メール配信などお客様への積極的な情報発信が重要になると感じています。また、行政と連携し、情報を発信できる電子看板などにも取り組んでみたいと思っています。

今後も「食文化を通してお客様の笑顔を創造する」をモットーに、安心安全はもちろん、おいしいと喜んでいただけるような大洲産の商品を提供していきます。

◇所在地 大洲市徳森

◇電話 25-5620

<http://www.inakasouzai-ohishi.com/>

がんばる大洲企業

弊社は昭和49年に「大石食堂」として開業し、平成13年に(有)大石フーズに改め、法人化しました。

現在は、大洲で採れた食材を惣菜としてスーパーなどに販売していますが、以前に比べ売り上げも減ってきていて、厳しい経営状況下に置かれています。

経営力を高めるため、コストを抑えることも企業にとって大切なことですが、弊社では材料にこだわり、品質的に大変優れている大洲産の食材をできるだけ使用するよう心がけています。



文化財



喜多川歌麿の版木 2枚

大洲市指定有形文化財(彫刻)

右側:大洲市立風の博物館・歌麿館所蔵

左側:個人所蔵(大洲市立風の博物館・歌麿館保管)

平成10(1998)年、江戸時代の浮世絵師喜多川歌麿の版木が肱川町で発見されました。喜多川歌麿は、人物の上半身のみを描いた大首絵と呼ばれる形態を創案し、美人画を得意としました。

発見された版木は、「狐釣之図」と呼ばれる9人の女性がお座敷遊びをしている姿を描いたもので、年代は寛政8(1796)年～9(1797)年ごろのものと考えられています。

この版木は、3枚続きのうち左右両端の2枚の図柄にあたります。残念ながら中央部分は発見されていませんが、摺られた浮世絵がアメリカのボストン美術館に残されています。歌麿の版木は世界でも4点しか確認されておらず、大変貴重な資料と言えます。

現在では残されている版木や浮世絵をもとに復刻版が作成されており、「狐釣之図」の全体像を見ることができます。(平成11年7月1日指定)

野鳥



ホウロクシギ(焙烙鷓)

チドリ目シギ科

大きさ63cm

初秋に出会えるカラス位の大型のシギです。よく出会える場所は海岸沿いの干潟ですが、広い農地でも観察できることがあります。2006年には幼鳥が東大洲に現れ、1週間ほど滞在しました。立派なくちばしと長い足で、畑の昆虫などを素早く捕らえていました。ユーラシア大陸北東部で繁殖して、南半球のオーストラリアに越冬に向かう途中、日本に立ち寄ります。元々自然豊かな日本列島は、多くの生き物の中継地点として重要な役割を果たしていますが、原発事故の後、周辺の自然環境はもちろん、物言わぬ動植物たちへの計り知れない影響が、将来どのような形で出てくるのか、気がかりです。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト⑨

大洲市消費生活センター通信

「ご存知ですか？」

大洲市消費生活センター

大洲市消費生活センターは、「突然家にやってきて、断り切れず商品を購入したけどどうしよう」といったさまざまな消費者トラブルの苦情・相談を受け付け、解決のお手伝いをするところです。

消費者トラブルから身を守るには、正しい情報を知ることが大切です。そこで当センターでは、最新の事例やトラブルの対処法を紹介する啓発出前講座を行っています。ぜひ、サロンなど地域の団体で計画してみてください。詳しくは下記までお問い合わせください。

消費者トラブルは誰に起こっても不思議ではありません。一人でも悩まずお早めに当センターにご相談ください。

次回は、高齢者に多いトラブルについて実際にあった事例をふまえてご紹介します。



大洲市消費生活センター

(商工観光課内)

☎ 24 1790 (直通)

相談受付時間

午前9時～正午
午後1時～5時
月曜日～金曜日

(祝祭日を除く。)

★センタークイズ★

当センターで、高齢者に多い相談内容は？

- ①訪問販売 ②通信販売
③インターネット

正解は14ページにあります。

とっておきの撮影スポット探しています

「この季節に」「この場所から」「この角度で」など、あなただけのとっておきの撮影スポットを教えてください。
市内外のたくさんの人に紹介していきたいと思えます。
「いつまでも心に残る旅の風景をあなたに」

「これぞ大洲の原風景という感動をあなたに」

「家族の話題を取り持つ大洲の思い出をあなたに」というような気持ちを、観光客の皆様に伝えていくために、みなさんのお勧めをご紹介します。

なお、みなさんから紹介いただいた写真・場所は、市のホームページなどで定期的に紹介します。

【情報の提供方法】

様式などは特にありません。

住所・氏名・電話番号・題名・コメント・撮影場所を記載してください。

郵送・FAX・メール・持参いずれも可

【問い合わせ先】

商工観光課観光係

☎ 24 2111 (内線532)

FAX 24 0080

メール

syoukoukankouka@city.ozu.

ehime.jp

【観光係職員のお勧めショット】

「大洲城と一両列車」

城下町大洲を代表する建築物と鉄橋を渡る一両の列車が格別です。



「長浜赤橋に残る弾痕」

現役で動く日本最古の可動橋に残る戦闘機からの弾の跡は必見です。



Mucho gusto. (初めまして。)

中米のニカラグアという国で活動している山口哲史です。ニカラグアに来て約2か月になります。現地でのスペイン語の訓練を終え、3週間前からチナンデガという町の小学校で算数の先生として働いています。

今回は、第1回目ということで、ニカラグアの人々の生活について紹介したいと思います。こちらに来て、まず、市場の賑わいように驚きました。ニカラグアの町には、たいいてい市場があります。そして、人と果物で溢れています。果物の他にも、私の住む町は海が近いということで、生きたカニが売られていることもあります。

ニカラグアの人々は、とても優しく、話好きです。学校帰りに市場を通りますが、たくさんの人が私のことを覚えてくれ、「サトーン」とあいさつをしてくれます。すでにこの町で、たくさんの友だちができました。



ニカラグアの市場の風景

それから、意外にも日本のものを目にすることが多々あります。「Maruchan Ramen (マルチャン・ラーメン)」が売られています。しかし、ニカラグアの人々は、決して「ラーメン」とは呼ばず、「Sopa Maruchan」(「マルチャン・スープ」の意)と呼んでいます。また、家の近所に、空手の道場を見つけました。指導者は、ニカラグア人のようです。いつか、練習の様子を見学させてもらいたいと思います。

小学校教諭としての活動ですが、四苦八苦しています。言葉の壁に加え、計算の仕方が日本と異なる部分もあるため、子どもの質問にうまく答えられないことがあります。毎日、反省の連続です。でも、落ち込んで

いる時間はありません。少しでも子どもたちが理解できるよう、帰宅後には、時間をかけてその日の振り返りをしています。次のニカラグア通信では、もっと成長した姿をお見せできればと思います。

¡Hasta pronto! (それでは、また。)



知り合いになった家族のお父さん・赤ちゃん

海外ボランティア参加者募集!

あなたの技術・経験を生かしてみませんか? 開発途上国で、現地の人々と協働しながら、人づくり、国づくりに協力します。派遣期間は原則2年間で、在職中の人に参加される場合は、勤務先に人件費などを補てんする制度もあります。

【体験談&説明会】(予約不要)

開催県	日時	場所
愛媛	10月18日(火) 午後6時30分~8時30分	松山市男女共同参画 推進センター(コムズ) 5階大会議室
	10月29日(土) 午後2時~4時	

【募集期間】 10月1日(土)~11月7日(月) 消印有効

【対象】

- ①青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア: 満20歳(平成24年4月1日時点)~39歳(応募締切日時点)
- ②シニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティア: 満40~69歳(応募締切日時点)
- ①②ともに、日本国籍を持つ人

【問い合わせ先】

JICA(ジャイカ) 四国
☎087-821-8824
<http://www.jica.go.jp>

8 / 8(月)

安全運転を心がけましょう ～菅田地区交通茶屋～

菅田町の中心部を通る市道で、交通安全協会菅田支部役員ら約30人が参加した交通茶屋があり、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

この市道は、通勤や通学、生活道路として多くの人がありますが、交通量が多いため、過去には小学生が車両と接触する事故が起きるなど、大変危険な状況でした。

このため、地元区長会を中心に大洲警察署、愛媛県公安委員会に対して時速30kmの速度規制の要望活動を行ってきたもので、8月から規制が実施されています。

参加者は、運転者一人ひとりに声をかけながら、交通安全を呼びかけるチラシを手渡しました。



安全運転の啓発用チラシを受け取るドライバー

子どもたちの一生の思い出に ～サマースクール開催～

8 / 8(月)～10(水)



笑顔いっぱいの子どもたち

大和小学校でサマースクールが開催されました。

これは、愛媛大学の学生サークル「児童文化研究会」が毎年、夏休み中に開催するもので、大和小のほとんどの児童が参加しました。

子どもたちは、各教室で「カメ」「キリン」「パンダ」などに扮した学生が出題するゲームに挑戦したり、運動場に設置したかまどで、グループごとに味の違うカレーを作り、食べ比べをしたりしました。

教員志望の学生34人の豊かな発想と準備のおかげで、子どもたちはキャンプファイヤーやミニ運動会、公民館へのお泊りなどを経験し、一生の思い出になる3日間になりました。

8 / 8(月)～9(火) 友だちの輪が広がったよ

8 / 18(木)～19(金) ～海の学校と山の学校の交流会～

夏休み中に、河辺小学校と伊方町立三机小学校との交流会が行われました。8月8日、9日に三机小の5・6年生が河辺小を訪れ、交流活動を行いました。子どもたちは「坂本龍馬脱藩の道」を歩いたり、河辺川で水遊びをしたりして楽しみました。また、夜にはバーベキューやキャンプファイヤー、ふるさとの宿での宿泊で、子どもたちはすっかりうちとけた様子でした。帰りに河辺小の児童からカブトムシやクワガタムシがプレゼントされ、三机小の児童はとても喜んでいました。8月18日、19日に、今度は河辺小の5・6年生が三机小を訪れ、漁船に乗ってシラス漁の体験、塩成海岸での海水浴、バーベキューなどで交流を深めました。

この4日間の体験と思い出は、子どもたちにとって夏休みの大きなプレゼントになりました。



坂本龍馬脱藩の道を歩く子どもたち

8 / 13(土)

神秘的で幻想的な世界へ ～山鳥坂鎮縄神楽～

毎年恒例の山鳥坂鎮縄神楽が、肱川町岩谷地区の旧岩谷小学校グラウンドで行われました。

この鎮縄神楽は愛媛県の無形民俗文化財に指定されているもので、300年以上の歴史を持ち、平成10年にはロンドン公演を実施しています。

今年も市内外から大勢の観客が訪れました。公演の途中では、約20mもある大蛇が山中より空を駆け巡りながら登場し、神秘的で幻想的な世界に観客のみなさんも楽しんでいる様子でした。

また、この鎮縄神楽の公演では、新居浜市の一宮グループのみなさんに、集落支援活動として会場や周辺の草刈りや清掃、舞台や出店の準備などのご協力をいただきました。



神秘的な舞に魅了される観客

流れに乗って勢いよく

～第21回大洲市カヌーツーリング駅伝大会～

8 / 21(日)



一斉にスタート！

清流「肱川」を大切にする意識の高揚を図るとともに、カヌーの普及と生涯スポーツの振興に資することを目的に、第21回大洲市カヌーツーリング駅伝大会が開催されました。

この大会は、大成橋上流から大洲城下を目指し、5区間、計15.3キロの距離をタイムで競い合うものです。この日はあいにくの雨にも関わらず、49チーム288人の選手が参加しました。

大会長である清水市長の合図で、選手たちは一斉にスタートしました。順調に順位を上げるチームもいれば、転覆するチームもいて、応援に集まった大勢の観客からは、歓声やどよめきが起きていました。

漕ぎ終えた選手たちは一足先にゴールに集まり、チームに関係なくアンカーの選手を温かく迎え、互いの健闘をたたえていました。

8 / 22(月)～26(金)

地域医療を肌で感じて ～自治医科大学医学生地域医療実習～

自治医科大学在校生（5年生）の岡田^{まさほ}将誉さんが、地域医療実習として、河辺診療所で5日間の実習を行いました。

この実習は、自治医科大学卒業生の勤務する病院などで、地域医療の実践に触れて、自らの将来設計を考えることを目的としています。

実習では濱上医師が岡田さんに対し、病気だけを診るのではなく、患者さんの生活にも配慮したコミュニケーションが大事だと指導されていました。岡田さんは、往診や特別養護老人ホームかわかみ荘の回診にも同行し、また、社会福祉協議会主催のふれあいいきいきサロンにも参加して、地域の現状を肌で感じていました。患者さんの診察が中心でしたが、岡田さんは、「貴重な体験ができ、充実した実習でした」と感想を述べていました。愛媛の地域医療に携わりたいと考える医師が、今後増えることを期待しています。



診察での濱上医師と岡田将誉さん（右）